

— 講演会 —

「城下と幅下の町並み—江戸から昭和へ」



名古屋城下の町並みは、「清洲越」によりお城の造営とともに、計画的に整備されました。城下東部と南部には寺町、その内側は武家の居住地、中心部は碁盤割といわれる街区とし、町人地としました。

清洲、美濃へ続く幅下にも武家居住地、町人地、新道寺町が設けられ、美濃路沿いは藩の物流・経済拠点としておおいに発展しました。

明治以降、市道外堀線、国道22号線、県道江南線などの整備、戦災復興区画整理事業により町の様子は大きく変わりましたが、戦災を免れた地区を中心に、江戸時代より続く町人地の様子を今でも知ることができます。講演会では、名市大向口先生のお話を聞き、昔を知る地元の方のお話と合わせて、城下と幅下の歴史と町並みのお話を楽しみたいと思います。

日時 2026年10月11日(日) 13時30分～16時
場所 杉本家(西区幅下1-12-2)
講師 向口武志氏(名古屋市立大学教授 芸術工学研究科 建築都市領域)
内容 ・講演「城下と幅下の町並み—江戸から昭和へ」
・参加者と意見交換

日程 13時30分～ 受付
14時～15時 講演
15時10分～16時 意見交換

定員 30名(申込順)

参加費 無料

申込先 幅下まちあそびの会 佐藤まで「メール」
または「FAX」でお申し込みください。

Email: hr-satou@dune.ocn.ne.jp

FAX: 0568-23-2421



主催 幅下まちあそびの会
(連絡先) 事務局 佐藤博司(090-1728-8137)

< 参加申込書 >

■ご氏名 _____ 参加者人数 _____ 名

■ご住所 _____

■連絡先 _____ TEL _____ FAX _____

Email _____